

# 根室の研究活動

研修部長 中標津町立西竹小学校  
校長 横山 裕 充

## 1. はじめに

根室管内小中学校校長会は、これまでの取組を生かし、年に一度根室管内小中学校校長研究大会を開催している。

今年度から新たに3か年の研究計画の最初の年をスタートさせた。一人1レポートを持ち寄り、分科会討議を中心とした研究大会として、本年度はさらに、討議の充実を図るための工夫を行った。

4分科会構成で行った研究大会の内容を中心に研究活動の一端を紹介したい。



## 2. 研究計画

### (1) 根室管内小中学校校長研究大会の開催

- ① 開催日 平成26年8月25日(月)
- ② 会場 中標津町トーヨーグランドホテル
- ③ 研究主題

「根室の風土を生かし、心豊かにたくましく生きる力を育む学校教育の創造」

### ④ 研究主題設定の趣旨

今日、社会の急激な変化に伴い、情報化、国際化、価値観の多様化等が益々進展化する中で、これからの学校教育においては、個性や創造性を発揮しながら社会の変化に対応して生きていくことのできる児童生徒を育てることが求められている。このことを踏まえ、私たちは根室の地に刻まれた深い歴史と先人の志を継承し、生涯学習社会における学校経営の望ましい在り方を校長という立場から究明し、充実した学校経営を推進するために研究主題を設定した。

### (2) 全道、全国研究大会への参加

- ①全道小学校研究大会日高大会(平成26年9月12日～13日)
- ②全連小研究大会埼玉大会(平成26年10月23日～24日)
- ③全日中研究大会苫小牧大会(平成26年10月9日～10日)

### (3) 平成27年度道中研究大会檜山・江差大会に向けてのプロジェクト

## 3. 研究の概要

### (1) 根室管内小中学校校長研究大会分科会の研究内容

#### ① 第1分科会「教育課程に関する内容」

##### ア 分科会主題

「人間力を豊かにはぐくむ特色ある教育課程の編成・実施」

イ 今年度研究内容

- 生きる力をはぐくむ調和のとれた教育課程の編成・実施
  - ・学習環境を整え、創意工夫を生かした学習指導要領の運用
  - ・個性の伸張と公共の精神をはぐくむ教育活動の充実
  - ・確かな学力を育む教育課程の工夫

② 第分2科会「学校経営と特色ある学校づくり」

ア 分科会主題

「地域に根ざした特色ある学校づくりの推進」

イ 今年度の研究内容

- 教職員の人間性と専門性を高め、意識改革を促す現職教育
  - ・職員の人間力を培い、授業力を高める研修体制の確立
  - ・経営参画意識を高める工夫

③ 第3分科会「児童生徒の健全育成」

ア 分科会主題

「豊かな人間性と創造性をはぐくむ学校教育」

イ 今年度の研究内容

- いじめや不登校を生まない学校づくり
  - ・児童・生徒の悩みや相談を学校全体で取り上げる組織的な取組
  - ・生徒指導の機能を生かし、かかわり合う力をはぐくむ教育活動の工夫

④ 第4分科会「家庭・地域との連携」

ア 分科会主題

「家庭や地域との連携・協力の推進と学校教育」

イ 今年度の研究内容

- 家庭や地域との連携による信頼される学校経営
  - ・家庭・外部機関と連携した情報モラルの育成
  - ・学校評価、学校関係者評価を生かした学校経営

(2) 全体講評から

本研究大会の研究主題の始めに「根室の風土を生かし」という言葉がある。この「風土」という言葉が大変重みのある言葉である。風土とは、一般的にはその土地の気候・地形・景色などを指している。そうした自然の要素の他に、これまで受け継がれてきた人や伝統、文化的なものも含まれるのがこの「風土」という言葉である。

学校風土という言葉も使われている。50の学校があれば、50の学校風土がある。そしてこの各学校の学校風土の総和が、「根室全体の教育風土」を形作っている。校長先生は、ご自分の学校風土をどのようにとらえているだろうか。学校風土が子どもにとって、保護者にとってまたは地域にとって温かいものであることが、「信頼される学校」ということだと思う。ぜひ校長先生が、心地よい「風」を吹かせて、よい学校風土を作っていただきたい。

#### 4. おわりに

道中、道小の研究課題を踏まえ、新たな3か年の研究を開始した。課題解決に向けた校長の指導性、校長の役割等が分科会協議の中で究明され、それを各校に持ち帰り実践、実証を行い、各市町で研究討議をし、それをまた、管内全体で交流、研究討議を行うというサイクルを作ること、実効ある研究としていくよう努めている。